

エ | ネ | が | お 5

～エネルギーをつなぐ現場の素顔～



電力ネットワークカンパニー
通信ネットワークセンター 技術課
恩田 和朋

電力会社の「神経」とも言える
通信ネットワークの構築には
細部に至るまで神経を注ぎます。



パラボラアンテナから、最大85km
も先の対向パラボラアンテナとの
間に遮蔽物がないか点検する

中部電力の通信設備の保守・運用工事を総括する通信ネットワークセンター。ここで、通信設備の大規模な新設工事・取替工事を担当しています。
発電所や支社をはじめとする当社の事業場をつなぎ、さまざまな情報を伝達するために、高品質で強靱な通信設備が必要不可欠です。
さらに今は、当社内の通信ネットワークだけでなく、関西電力や東京電力など他電力と電力系統を接続するため、情報が伝えられるように通信設備を新設・更新する業務に取り組んでいます。

通信ネットワークは、電力会社の「神経」と言われます。それだけに、自分の仕事の責任の大きさとともに、やりがいを実感しています。
この仕事で一番達成感を感じるのは、全社につながるような大規模な通信設備が完成し、無事通信ができた瞬間です。



通信ネットワークセンターの仕事は会社の通信をつなぎ、守る仕事です



電力会社の情報を通信手段でやりとりする際に使用するネットワークを私たちが構築します

01

今後の基準となる 通信ネットワーク構築の責任

今、取り組んでいる新設の通信設備の構築は、この先20年以上使用するネットワークになります。運用方法を検証し、通信品質の確保に必要な試験を、手順を変えながら、何度も繰り返し行います。
この工事が今後支社や他の事業場で同様のネットワークを構築する際の基準となるため、大きな責任を感じています。

例えば、発電所の発電機を動かす際や変電所の運用に関わる情報などはこの通信ネットワークで行います



恩田くんは、どんな仕事も粘り強く、投げ出さずに一生懸命取り組む姿が印象的です。日常は、とても明るく、周囲のメンバーともいい関係を築いています

電力ネットワークカンパニー
通信ネットワークセンター 技術課
杉山孝之

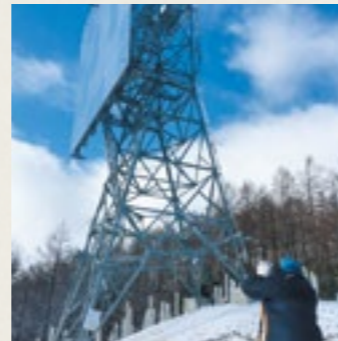
03

現場の声に耳を傾け 意見を積極的に取り入れる

この仕事に携わった当初、現場研修の際に学んだのは、現場作業をする方たちの意見が、いかに大切かということです。
実際に作業をする方たちの、生の意見や疑問を、どんな小さなことでも聞き逃さず、それを検討・採用することで、現場の仕事は格段に改善されます。



通信設備(反射板)の建設現場の様子



山間部の「多重無線装置(マイクロ)」では、山に遮蔽され見通しが取れないことがあります。そうした際には、反射板に電波を反射させて、伝播させます

のぞき見リフレッシュ

プライベートでの楽しみは3歳の息子と一緒に遊ぶこと



休日は、今年の6月で3歳になる息子と、今ハマっているブルドーザーなどの重機を見に行ったり、自転車の練習を楽しんでいます。息子がもう少し大きくなったらキャッチボールをしたいなど楽しみにしています。

MY TOOLS

双眼鏡

重要通信設備の「多重無線装置(マイクロ)」からの電波が、遮蔽物なく空間を伝播できるか、目視で点検する際に使用する双眼鏡。



レベル計

通信装置を新設したり更新したりする際に、各設置の信号レベル設定が間違いないかを測定します。通信ネットワークの末端まで、滞りなく通信できるかを確認するために、とても大切な道具です。



ネットワークテスター

通信回線の品質を測定する測定器。事業場間を結んだネットワークにおいて、情報を正確に通信できるかをテストします。



02

使う相手のことを考えて 通信設備を設計する

設備を設計する上で大切なことは、できる限り、施工しやすい方法を考えることです。
それと同時に、通信ネットワークの保守や運用の際に、どうすれば従業員が使いやすいか、どうすれば間違いが起きないかを考えることが重要です。このことは、先輩方から学んだ大切な教えとして胸に刻んでいます。



現場の声をできるだけ多く吸い上げるために現場で作業する方たちと気持ちの距離を近づけるコミュニケーションを心がけています



のぞき見リフレッシュ

プライベートでの楽しみは3歳の息子と一緒に遊ぶこと



休日は、今年の6月で3歳になる息子と、今ハマっているブルドーザーなどの重機を見に行ったり、自転車の練習を楽しんでいます。息子がもう少し大きくなったらキャッチボールをしたいなど楽しみにしています。